

2016  
焦点・論点

## 介護保険「軽度者」負担増 政府が狙う

全国老人福祉施設協議会在宅サービス委員長 武藤岳人さん



むとう・たけひと  
1971年山梨県生まれ。同  
県議員を経て、2002年、  
社会福祉法人壽光会入  
職、2011年から施設役

■長期には財政圧迫

「軽度者の負担増は向  
きもだらじますか。  
要介護1、2になった方

一方 厚生労働省は  
運営会で、要介護までの  
「軽度者」について利  
用料の一割から二割上  
げに引き上げると方  
への引き上げ方針を示し  
ました。

「軽度者」の負担増合意

2割以上引き上げると方  
の負担増が出てくる  
でしょ。ね。財政がある  
るより生活援助が減る  
よ大變」な負担増になると  
お金のある人はは、  
軽度の利用回数が減  
ることで、要介護の方  
が減ることで、要介  
護の負担が減くなる。こ  
れの意味がそれがわ  
ります。

政府は、介護保険制度見直しで、要介護1、2の生活援助や通所介護を保険給付から外すことを検討してきましたが、反対世論におされ今日は見送りました。しかし、厚生労働省は要介護1、2の「軽度者」の利用料の1割から2割以上へ

の負担増などを提案し、来年の通常国会への法案提出を目指しています。全国老人福祉施設協議会(約1万2000事業所、施設加盟)在宅サービス委員会の武藤岳人委員長に、「軽度者」の負担増問題について聞きました。(内藤真己子)

## 利用控え広がり重度化を招く 自立支援の考え方こそぐわない



■退所検討した人も  
「退所検討した人も  
が奥送られる方向にな  
ったのは当然のことです。

一方 厚生労働省は  
運営会で、要介護までの  
「軽度者」について利  
用料の一割から二割上  
げに引き上げると方  
への引き上げ方針を示し  
ました。

「軽度者」の負担増合意

2割以上引き上げると方  
の負担増が出てくる  
でしょ。ね。財政がある  
るより生活援助が減る  
よ大變」な負担増になると  
お金のある人はは、  
軽度の利用回数が減  
ることで、要介護の方  
が減ることで、要介  
護の負担が減くなる。こ  
れの意味がそれがわ  
ります。

### ■専門職支援できぬ

ところは外出ができない  
といふのがあります。その  
うな時期にいたりが  
たりになります。そん  
ときは専門職だからこそ  
のアドバイスに頼ります。  
これは専門職だからこそ  
できるもので、ただお掃除な  
事務職の人たる専門職の支  
援を保つことができる、表  
情を交わす活動・参加への  
意欲が高まります。訪問介  
護による支援で生活に振り  
あたってます。この支援で  
緩和たゞむと専門職の支  
援が期待できます。特に認知  
症が増えてしまつた方が  
は、要介護のうち中重度  
症の対応の見直しの  
意欲が高まります。

■専門職支援できぬ  
ます。専門職であると専門性  
の有無は専門的な社会的  
的要因によって、必要な扶  
持の回数は異なります。

ですから現状は必ずし  
も、軽度者が中重度の利  
用者負担が重いことは認  
めて、法の理念をも実現し  
ます。また、軽度者が中重度の利  
用者負担が重いことは認  
めて、法の理念をも実現し  
ます。

■専門職支援できぬ  
ます。また、軽度者が中重度の利  
用者負担が重いことは認  
めて、法の理念をも実現し  
ます。

■自然増削減者を  
自然増削減者を

ところは外出ができない  
といふのがあります。その  
うな時期にいたりが  
たりになります。そん  
ときは専門職だからこそ  
のアドバイスに頼ります。  
これは専門職だからこそ  
できるもので、ただお掃除な  
事務職の人たる専門職の支  
援を保つことができる、表  
情を交わす活動・参加への  
意欲が高まります。

ところは外出ができない  
といふのがあります。その  
うな時期にいたりが  
たりになります。そん  
ときは専門職だからこそ  
のアドバイスに頼ります。  
これは専門職だからこそ  
できるもので、ただお掃除な  
事務職の人たる専門職の支  
援を保つことができる、表  
情を交わす活動・参加への  
意欲が高まります。

い  
赤旗